

ただいまー

はあ…

夏ももう
終わりだっ
てんの

早くシャワー
浴びて涼みたい
とこだけど

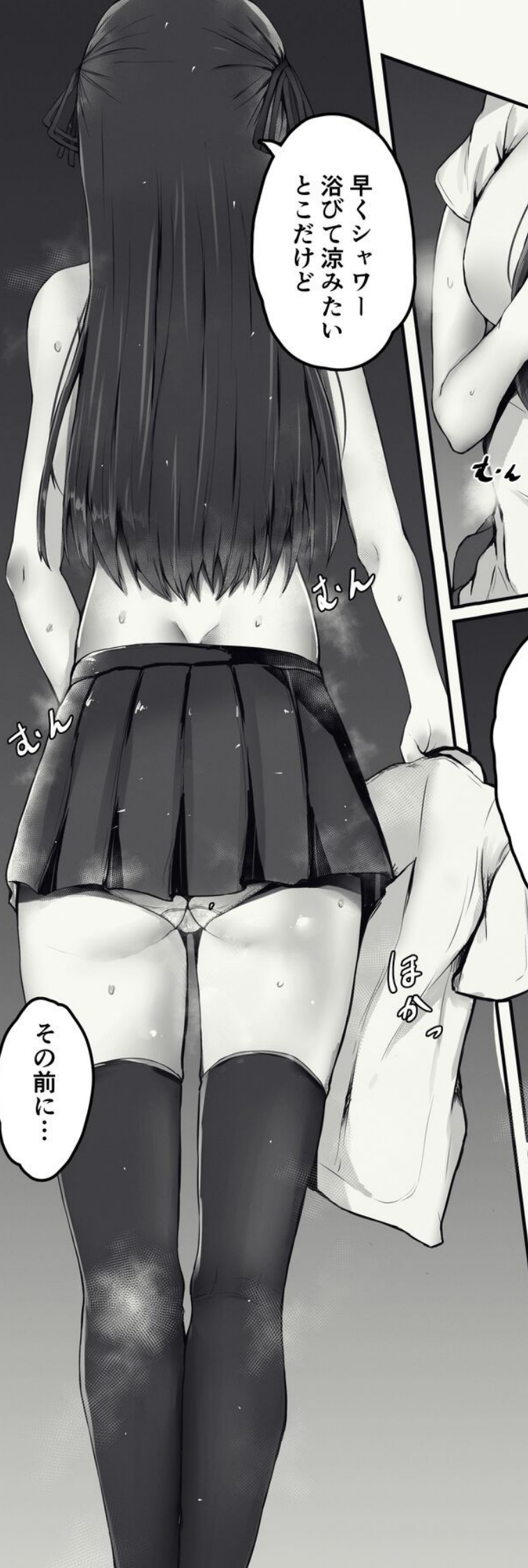


なんでこんなに
暑いのに…

というか
なんでこんな日に
練習試合なんて
やるの…



うー
もう汗
びとびと…



その前に…

いっわあ…

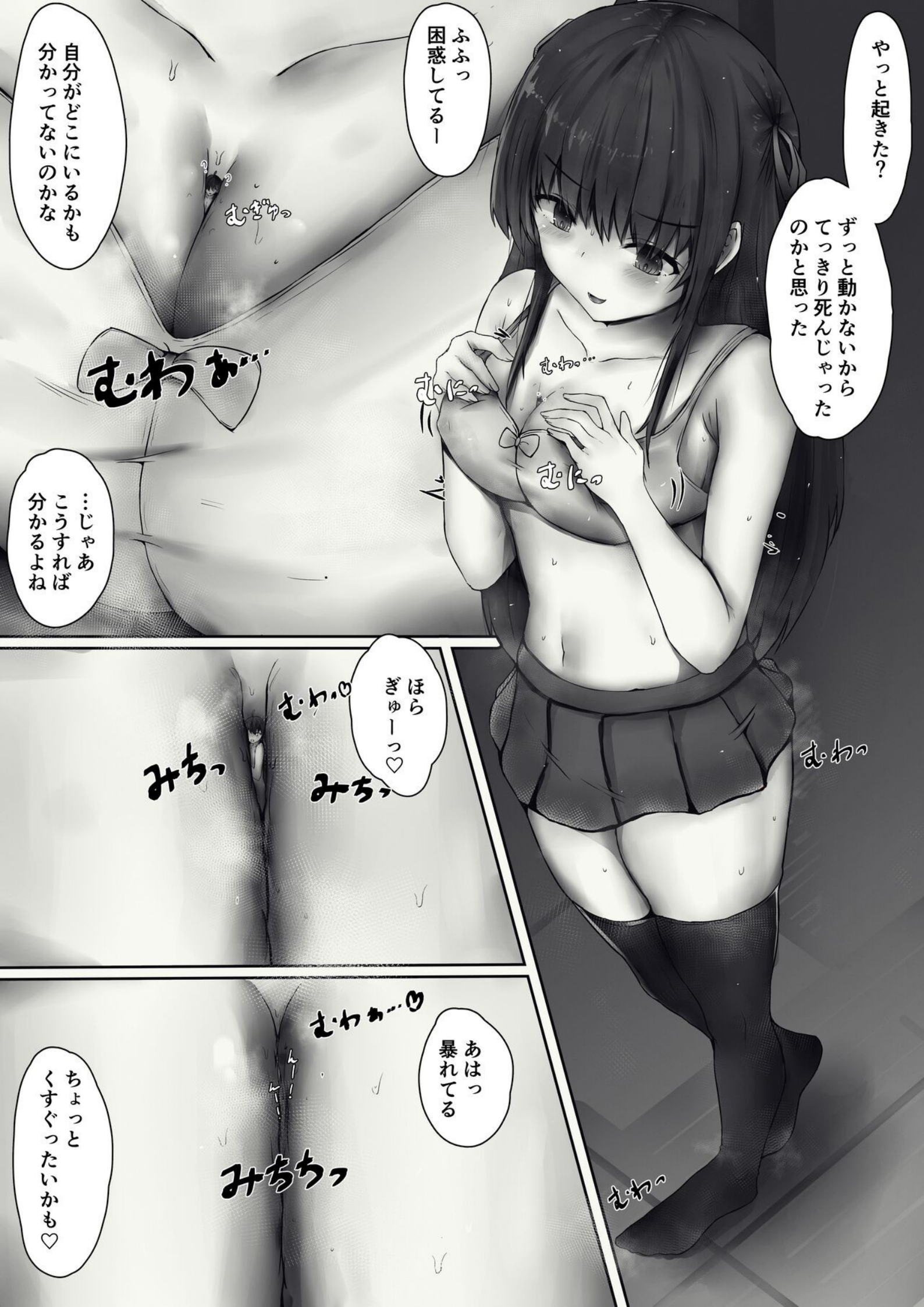
やっと起きた？

ずっと動かないから
てっきり死んじゃった
のかと思った

ふふっ
困惑してるー

自分がどこにいるかも
分かってないのかな

…じゃあ
こうすれば
分かるよね



ほら
ぎゅーっ♡

みちっ

みちっ

むわっ

あはっ
暴れてる

むわっ♡

みちっ

むわっ

ちょっと
くすぐったいかも♡



あれっ？
もしかして
覚えてないの？

そんなわけないよね
『上履き泥棒』さん

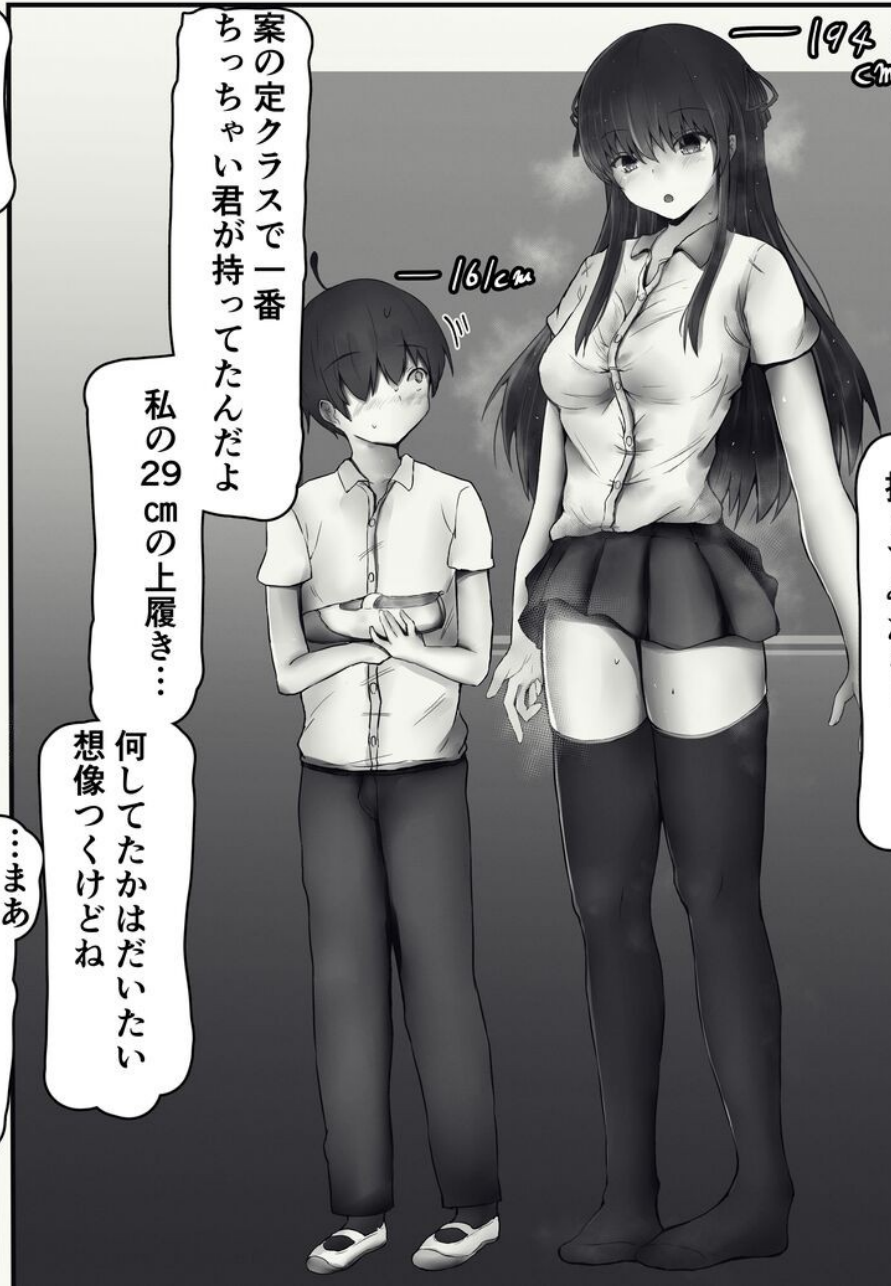


ふふっ
ちよっとやりすぎちゃった♡

私の汗でヌルヌルに
なっちゃってるね♡



…それで
護身用に持ってた縮小薬を使ったってわけ



部活終わった後
履き替えようと思って
見たら無くなってるし…

もしかして…
と行っていくつか教室
探してみたら…

案の定クラスで一番
ちっちゃい君が持ってたんだよ

私の29 cmの上履き…

何してたかはだいたい
想像つくけどね

…まあ
君が相手だったら
使う必要もなかったかも
だけどね



けど
少し意地悪したく
なっちゃった♡

ねえねえ
私の上履きの匂い…
どうだったの？

わたし背も高いし
足もおっきいから

そんなに良い匂い
はしないと
思うんだけど…

あっ…
もしかして君
そっちの匂いの
方が好きな人？

ふふっ
図星みたいだね
じゃあ…

足の匂いだけじゃなくて
こっちの方も好きだったりするよね♡

なんか君のお腹の下の辺
硬くなってるんだけど…

ふふっ
やっぱり好きなんだね…
それじゃあいくよー♡





ふふっ
どうかな…？

いっばい走ったから
けっこう蒸れちゃってる
と思うけど

むわっ…



うあ…



もっと
近づけてあげるね

ふふっ
息が
こそばゆいよ

むわっ…



ねえねえ…
君のお腹の下…
さっきより硬くなってるよ

腋の匂いで
興奮しちゃってるんだ…
やっぱり君
変態さんだね



えいっ

あはっ
ちよっと
くすぐったいかも♡

むわっ…
ギョウ



ふふっ
抵抗できないって
惨めだよな

むわっ



どう？
女の子の腋に押し付けられる
気分は

もわっ...

むわっ

ギュー

むわっ

もがいても
逃げられないよ



むわあ...

ギ

ギ

じわ

もうギブアップ？
変態さんなのに
情けなしい



え
嫌なの？

もわっ

むわっ

そんなわけないよね
変態さん



ねえ
今度は君のほうから
舐めて

むん

え...

むん



汗まみれの腋なのに

うわあ
必死にペロペロ
してる

ほんとに
救いようのない
変態さんだね



ほら
はやくしないと
潰しちゃうぞー

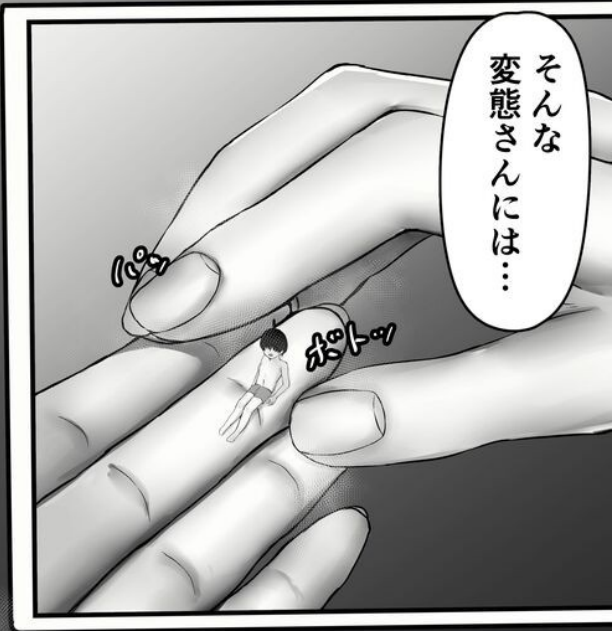


うわっ
ほんとに舐めたー



ずっと
閉じてたほうで
遊んであげるね♡

むわっ...



そんな
変態さんには...

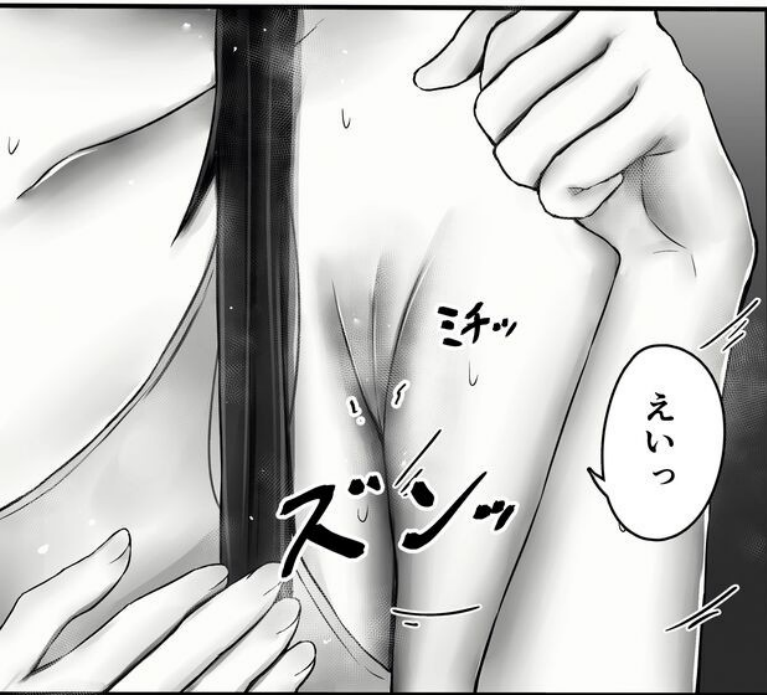
こっち側の



このまま
挟んであげるね



じゃあ…



えいっ



しばらく
このままにしてあげるね
変態さん



ふふっ
暴れたって
無駄だよー



ほら
どう？

こっち側のほうが
もっとムレムレだよね♡







ほんとは
嬉しいんですよ？

だって
匂いフェチだもん



ふふっ
この後どうなるか
君ならもう分かるよね？



やめないよ
変態



それとも

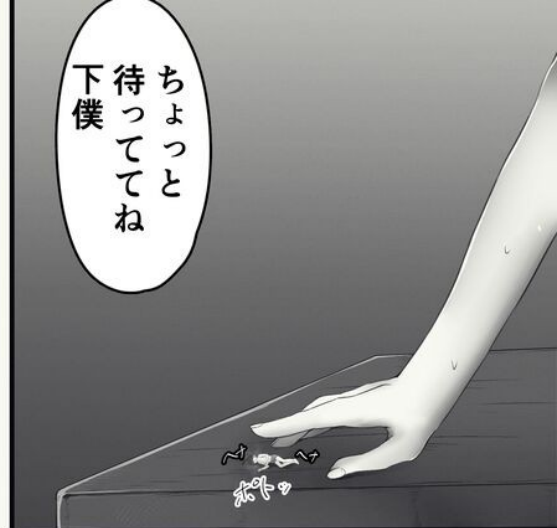
ほんとに
上履きの匂いでしか
興奮できない？

あははっ
そんなわけないよね

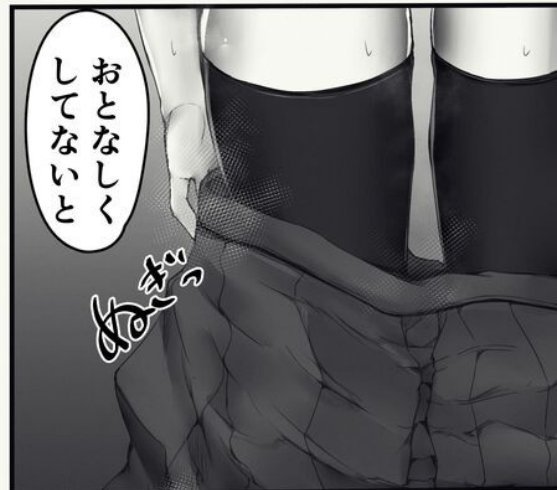


殺しはしないけど

なんてね
さすがに
面倒なことに
なっちゃうから



ちよっと
待っててね
下僕



おとなしく
してないと



でも



ほんとに
潰しちゃうかも



その間
たっぷり
いたぶってあげる

せっかくだし
しばらく
軟禁するくらいなら
いいよね

ぐわっ
むわっ

ちよこん



ん？

もしかして
本当に潰されちゃうかと
思った？

それとも
そんなに私のこころが
見たいの？

意外と
大人しくしてるんだね

むわっ

むわっ

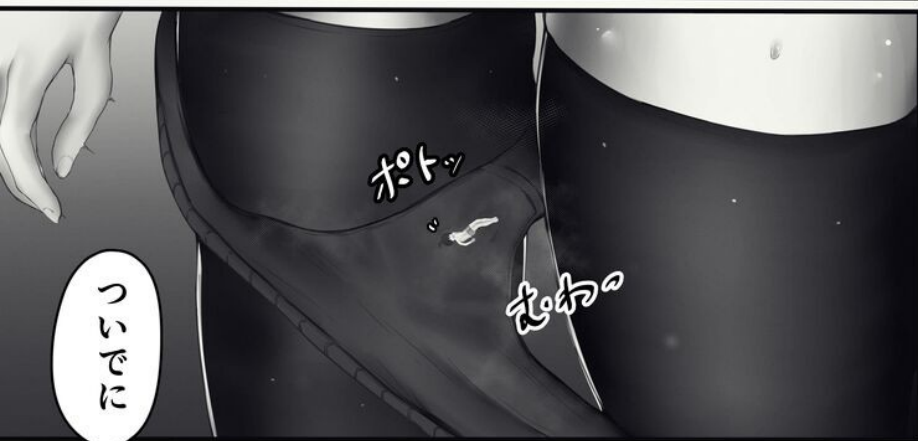
あつ



もっと近くで
見せてあげる

下僕の変態
には

ひよい



ついでに



どう？

部活と体育
両方において



じゃあ



においもいっぱい
臭がせてあげるね

パンツとブルマに
挟まれて

グググ

グググ

無理やり
においに
嗅がされてるんだよ？

あはっ

ねえねえ
今どんな気分？

むわ



グググ

グググ

みち

みち

ググ

むわ

次は
君の大好きな
足で遊んであげるね

でも
君はこれが
好きなんだよね



ほんと
ちっちゃいんだね

むわ



こうして見ると



ふふっ...



ほらほら
君の大好きな足だぞー

むわ

むわ



足の小指くらいかな？

むわ



変態の君ならむしろ
こっちのほうがいいよね



でも



相当ヤバいと思うんだけど...

ほらどう?..
一日中履いたニーソのにおい



どう?
私の足裏

その気になったら
君なんてひと踏みで
ぺしゃんこなんだよー





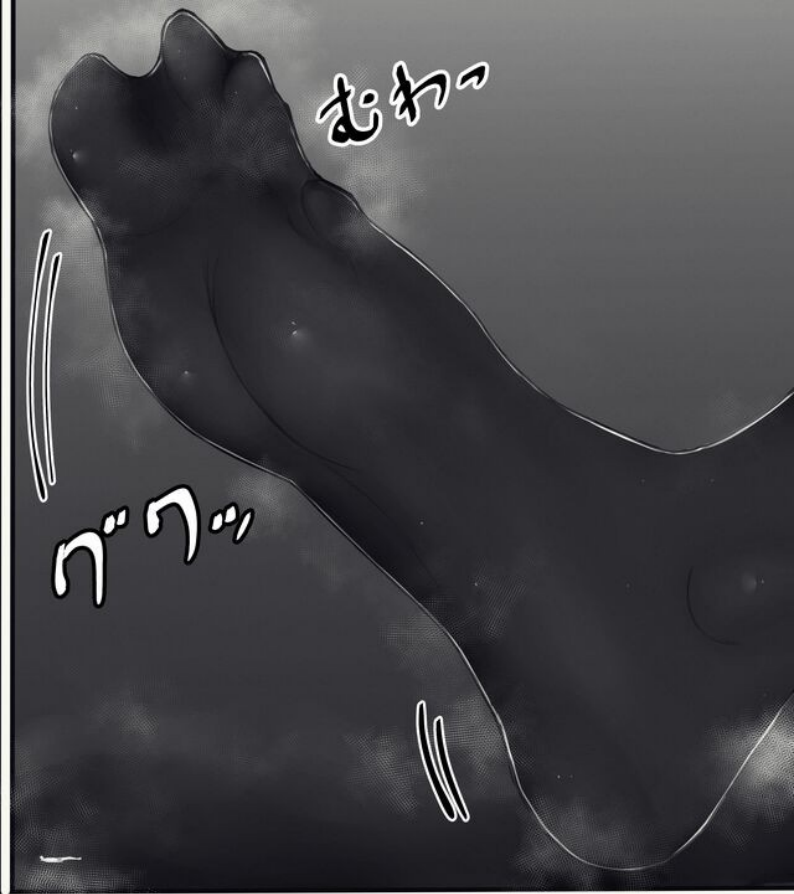
ふふっ
もう藻掻くことも
できないんだね

気絶しちゃった?



こんなふう
にね!







両足裏でかざしちゃうと
空一面ニーソって感じだよね

むん

むわっ

むわっ

でも…
ちよつと
面白みがないなあ

むわっ

ふふっ
このまま下ろして
あげよっか？

むわっ

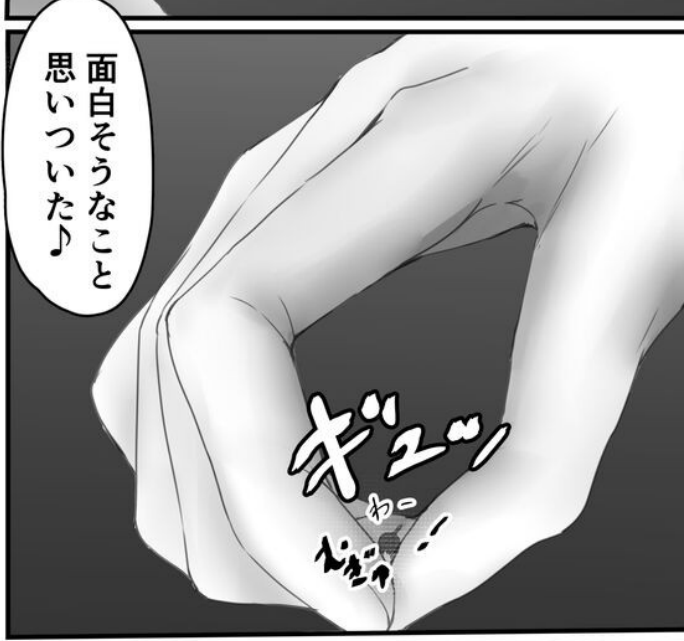


むわっ

そうだ



グニグニ



面白そうなこと
思いついた♪

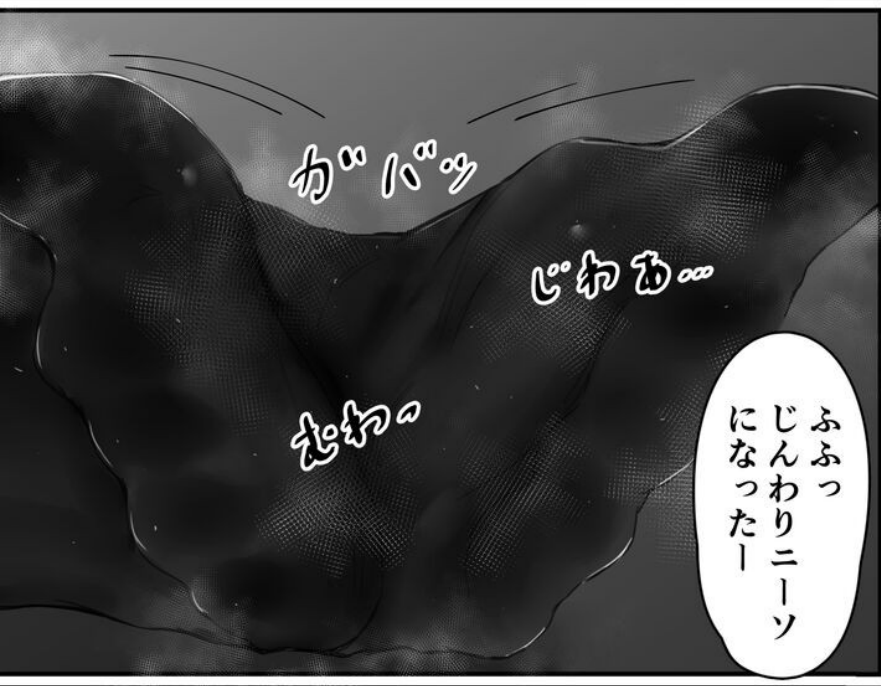
これで…

こうやって
グニグニ
すると



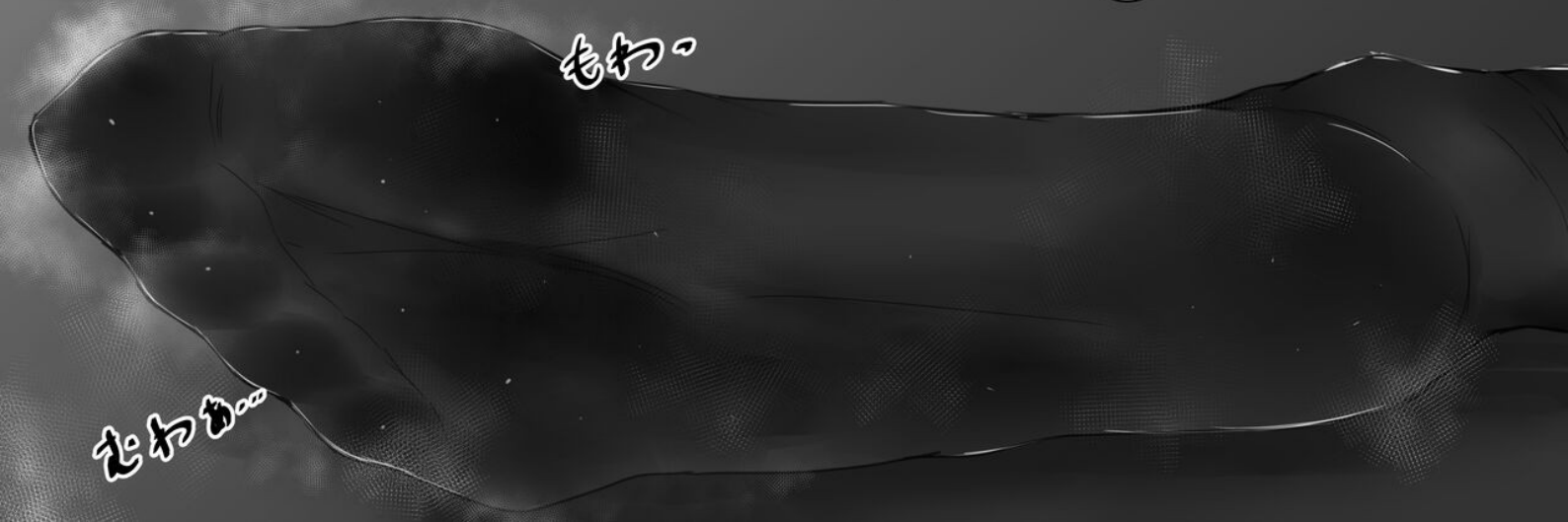
グニグニ
むわわ
グニグニ

足指の間とかの汗が
ニーソに吸われるんだよね



かゝぱゝ
じわわ
むわわ

ふふっ
じんわりニーソ
になったー



むわわ
むわわ



君を挟んじゃいます

むわあ

落とすよー

さーん
にーん
いーち

もわ



ふふっ
キヤツチー

いっ

むわ

むわー

キツ



ぜろー

むわ

びん

むわあ

じわ



もっと強い方がいいかなー？

ふふっしばらくこのままにしてあげるね！

むわっ

むわっ

むわっ！

びわあ...



好きなだけ嗅いでいいよ
変態

どう？
さっきより湿ってる？

むわっ

むわっ



あはっ
しなしなになって
貼り付いてるー

むわっ

むわあ



10分後...

もうこれくらいに
してといて
あげよっかな

流石にちよつとは
反省してるでしょ

むわっ

むわっ



ほんと
チビのくせに態度は大きいよね

はっきり言ってくれるよね…
もとはと言えば君が原因なのに



もうやめて…
もう上履き益らないから…
だからもう
臭い足で扶むのやめて…



……くさっ…



死んじやっても
知らないよ



もう手加減して
あげないから

体育に部活で頑張ったんだから
少しくらい
においはするもん…

でも他人からはっきり
言われると
あまり気分はよくないなあ

しかも
私より貧弱な君に
言われると尚更…

むわっ

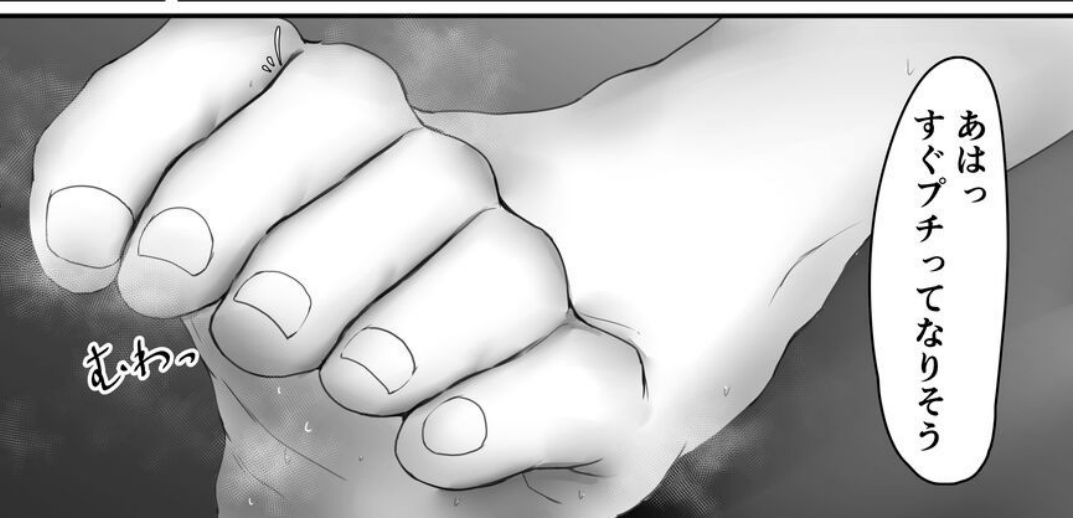
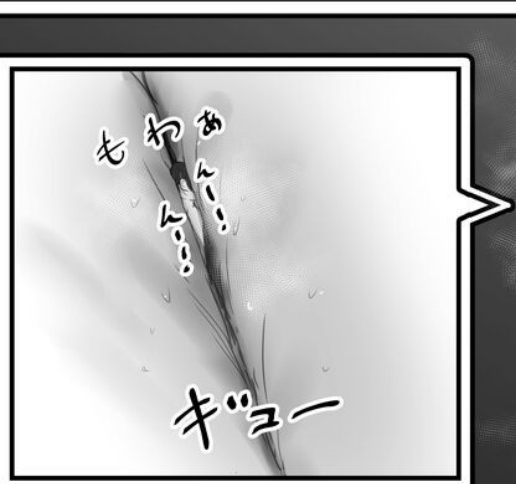
もわっ

ほかっ

今の君は私の足指より
小さいんだよ？
分からないの？

…少しおしおきして
分らせてあげるよ

むわっ
ぐわっ



ほら
逃げたかったら
逃げてみなよ

無理に決まってるもん
自分がどれだけ弱い
これで分かったよね

むわっ

もわっ
もわっ



もわっ ググッ

振り落とされちゃうよー



むわっ

ほら
しっかり
掴まってないと

ズン

もわっ

ふふっ
今度は素足で
挟んであげるね

むわ

じわっ

むわ



えいっ

むきゅっ

もわっ

むわっ

ばんっ



足で全身挟まれて
果てちゃうなんて

なんか
びくびくしてる

もしかして
いっちゃった？

やっぱり
変態だね

びくっ
びくっ
びくっ



優璃音から？

着信？



ウー

ウー



でもそれ
明日までだよな？

は？
勉強って？
もしかしてこの前の
課題のやつ？

そう
全然わかんない
うち来て



優璃音？
なに？

美那！
勉強おしえて！



じゃあ
待ってるからねー

…教えてくれないと
田中持ち帰ったことバラす…



なんで私が教えなきゃ
なんないの？

だから教えてって言うてるのー

。 。 。



どうせ連れて来いって
後で言うんだろうし



ほら
きみも行くよ

え？



…まさか見られてるとはね
あの子で良かったけど



でも大丈夫
もしもの時は
私が守ってあげる

優璃音とまともに相手したら
たぶん死んじゃうと思うけど



まだ少し
蒸し暑いね…

だいぶ
日が落ちてきたけど



夏も終わりかな…